



現在、全国各地で「担い手不足」が深刻な課題となっています。そうした中、日常の暮らしの中で、懇親会や除草作業、地元の納涼祭などを通じて定期的に顔を合わせることで、**自然と担い手が発掘され、次の世代へと継承されている地区**があります。今回は、そんな**地域のつながりから担い手が生まれ、活動が受け継がれている地区**、牛沢町の「緑葉会」をご紹介します。

沢野地区 牛沢町「緑葉会」

あおばかい



緑葉会は約40年前、地域の男性が集まり「若手会」として発足しました。約30年前「いつまでも若々しく」という思いを込め、新緑の「緑」に由来する「緑葉会（あおばかい）」へ改称しました。

現在の会員数は34名、平均年齢は74～75歳です。最年少は37歳、最年長は85歳。年会費は二千円で、奇数月の第3土曜日には牛沢会館で定例会（懇親会）を開催しています。毎回定例会の後は、男性カラオケ愛好会との合同カラオケも行われ、会員同士の交流を深めています。



懇親会の様子

若手会の立ち上げ当初から参加し、会長歴は4年目です。昨年までシニアクラブ「朝日会」の会長も務めました。緑葉会は、みんなが定期的に集まって楽しい時間を過ごすことで自然と絆が深まっています。



会長 橋本 登さん(78)



カラオケの様子

スポーツ協会のみなさん

緑葉会にはスポーツ協会の会員をはじめとする若い世代も参加しており、同世代に積極的に声を掛けることで、緑葉会への加入につなげています。

地域のお宝発見 ～ 太田市生活支援体制整備事業 ～

発足当初は、納涼祭をはじめとする地域行事の手伝いや、親睦会、飲み会などを中心に活動していました。その後、太田市からの依頼を受け、年3回、石田川河川敷サイクリングロードの除草作業にも取り組むようになりました。



先輩たちが優しく、定期的に顔を合わせるうちに自然と打ち解けます。スポーツ協会から緑葉会に加入する若手も増え、友人から「うらやましい地域だね」と言われます。



金井 純一郎さん(52)

和田 孝さん(78)

牛沢町では、スポーツ協会、緑葉会、シニアクラブ、カラオケ愛好会など、さまざまな団体が活動を通じて何度も顔を合わせることで、世代や団体の垣根を越えたつながりが育まれています。



除草作業の様子

★牛沢町納涼祭にも取材に伺いました★

区長 中島 正光さん

区長代理 関口 順一さん

私も緑葉会とシニアクラブの両方に所属しています。スポーツ協会も含め、三世代で交流することが、自然と地域の担い手が育つきっかけになっていると思います。



牛沢町は交流が盛んな地域です。その積み重ねが地域の結束力につながっていると感じています。

スポーツ協会 会長
矢島 保さん(55)

父が緑葉会の立ち上げメンバーで、会員の皆さんにお世話になってきました。父が年齢的に活動へ参加できなくなったため、数年前から自分が参加するようになりました。私も50代半ばとなり、10年務めたスポーツ協会の会長も、近い将来、後輩へ引き継ぎたいと考えています。

牛沢町では、スポーツ協会（若年層）とシニアクラブ（高齢層）の間をつなぐ「緑葉会（中年層）」が、幅広い世代が地域活動に参加するための懸け橋となっています。こうして世代を超えて顔を合わせる機会があることで、自然と交流が生まれ、つながりが育まれています。その中で、地域で担う役割も次の世代へと円滑に受け継がれています。



過去の記事はこちらから

〇お問い合わせ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 太田市飯塚町1549 TEL 0276-46-6208

公式インスタグラム

